事業所名	おやこサポートふうきんとう	支援プログラム（放デイ）	作成日	R7 年	7 月	17 日

法人（事業所）理念	子どもの「やってみたい」「たのしい」という気持ちや、その子ならではの発想や感覚を最大限に尊重する環境をつくり、 子ども同士が遊び合い・学び合う過程を大切にします。				
支援方針	・子どもが自分のペースで自由に発想し、興味関心に合わせた遊びや活動を展開できるよう環境や空間の整備をする。 ・仲間との関わりの中で生まれる発見や学びを、スタッフがあたたかく見守り、必要に応じてサポートすることで、子どもたちの社会性やコミュニケーション力を育む。 ・保護者、家族の想いや暮らしの状況を理解し、連携しながら子どもと家庭をサポートする。				
営業時間	9 時 00 分から 18 時 00 分まで		送迎実施の有無	(あり) なし	
	支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・送迎時や活動中など子どもの様子を観察し、体調の変化が見られた際は指導員が声をかけ話を聞く。視覚補助や表現しやすいツールを用いながら体護を伝えられる仕組みを整える。 ・おやつ作りやお弁当作り等のプログラムを通して、五感を使った食体験を提供する。また、食材を洗う・ちぎる・混ぜるなど様々な工程を用意し、自発的な参加を促す。 ・地域の商店でおやつや文房具などを購入する機会を設ける。買い物の流れや予算内での購入品の選定、店員とのやりとり等を学ぶ			
	運動・感覚	・バランスボード、ハンモック、マット、ボール等を使った粗大運動・感覚運動を実施。長期休暇中は近隣の体習館等を確保し、子どもがのびのび動ける環境を整える。 ・外部専門講師(理学療法士等)による発達特性や身体バランスの評価をもとに、一人ひとりに合った運動メニューを取り入れる。 ・季節に応じた自然遊び(雪遊び・川遊びなど)を行い、楽しく体力の向上や体幹強化が行えるように支援する。			
	認知・行動	・デジタル時計やアナログ時計、タイムタイマーや見通し表などそれぞれが認識しやすいツールを使って活動に取り組めるように支援する。 ・ものの形や大きさ、重さ、色、音の変化、数、時間、空間など、生活に必要な基本的な考え方を身につけられるように遊びを通して理解を促す。 ・状況把握、判断が適切に行えるよう、ビジョントレーニングやボードゲーム、ルールのある運動遊び等を取り入れる。			
	言語 コミュニケーション	・一緒に遊びたい、話したいなどそれぞれの気持ちを代弁し、自分からも相手に伝えられるように個々に合わせたサポートを行う。 ・大人と一緒に状況の整理をしながら場面に合った言葉を考え、相手に伝えられるように支援する。 ・非言語コミュニケーションも使いながら、人と関わる楽しさを感じられるように支援する。			
	人間関係 社会性	・子どもの不安や辛さに寄り添い、共感的で肯定的な関わりを行う。 ・自由遊びの時間には個々の遊びを尊重しつつ、子どもたち主導でグループ遊びが展開できるように指導員がサポートを行う。 ・おもちゃや活動スペースをみんなで使う中で、交代や順番を守る、相手に譲る、片付けの仕方などの「共有ルール」を身につけるとともに、 他者と一緒に遊んだり作業したりする"楽しさ"や"達成感"を体験しながら、お互いを尊重して関わる力を育む。			
家族支援	・日々の活動をwebシステムやLINEを使って共有する。 ・定期的に保護者面談を行い、子どもの成長を一緒に感じたり、困り事の相談を 受けたりする。		移行支援	・進学や就労に向けた準備や関係機関との連携を行う。 ・放課後児童クラブを訪問し、情報共有や相談援助を行う。	
地域支援・地域連携	こども家庭センター、保育園、学校、保健センター、医療機関、相談支援事業所等と 積極的に連携し、情報共有・専門的助言を受けながら支援を行う。		職員の質の向上	・研修や事例検討会を通して必要な知識やスキルを学ぶ。 ・資格取得支援を行う。	
主な行事等	季節ごとの行事(進級パーティー、クリスマス会、遠足、卒業お別れ会など) 祝日イベント(山歩き、工場見学、電車に乗って外出など)				